

整理番号	31003
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年12月6日
事業担当課	文化財課

《基本情報》

事務事業名	長崎郷土芸能保存協議会補助金 ①大会開催経費費 ②後継者育成経費		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	A1 地域の個性を守り、活かし、伝えます		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	歴史文化遺産・景観・自然が	かけがえのない個性として、地域の中で大切に守られ、活かされ、伝えられている。	
個別施策	A1-1 歴史文化遺産を市民の誇りとして保存・継承し、有効活用を図ります		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	歴史文化遺産が	適切に保存継承され、広く公開・活用が図られている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	<p>①毎年開催される郷土芸能大会を通じ、市内各地域における郷土芸能の保存・継承活動を支援し、各地域の郷土芸能を周知することで郷土芸能保存団体による活動の存続が図られているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各地域における保存・継承活動の実施が困難な状況にあり、令和2年度及び令和3年度の郷土芸能大会が中止となった。</p> <p>②郷土芸能の保存・継承が困難で解散した団体もあり、知識・技術の習得や人材育成をはじめとした各地域における郷土芸能の保存・継承活動の支援が急務である。</p>		
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	「長崎郷土芸能大会」を開催することにより、各地域で保存・継承されてきた郷土芸能を市民等に広く周知し理解してもらい、出演団体における保存・継承活動の存続と地域コミュニティの醸成を目指す。		
課題(どういことをする必要があるので)	令和4年度は3年ぶりに郷土芸能大会を開催するため、郷土芸能団体の参加機会の拡大を図る必要がある。また、今後も各地域における郷土芸能を保存・継承するため、保存団体が行う後継者育成活動に対する支援を行う必要がある。		
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)		
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	<input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)		

《事業の概要》

<p>事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)</p>	<p>【事業概要】 郷土芸能の保存・継承を目的とする長崎郷土芸能保存協議会に対して補助金を交付する。</p> <p>【拡大内容】 ①令和4年度の長崎郷土芸能大会は新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となることから、郷土芸能団体の参加機会の拡大を目的として、出演団体数を例年の5団体から11団体に増やして実施する。</p> <p>②各地域における郷土芸能を保存・継承するため、協議会に加入する団体のうち、市の無形民俗文化財の指定を受けていない団体(全43団体)の後継者育成活動に対し、新たに補助金の交付を行う。</p> <p>【事業期間】① 令和4年度(出演団体枠の拡大は令和4年度のみ) ② 令和4年度～(終期は設定せず、経過を見ながら検討を行う)</p> <p>【拡大額】① 4,350千円(大会出演団体補助金 725千円×6件) ② 600千円(後継者育成費補助金 30千円×20件)※各団体への交付は隔年とする。</p> <p>【財 源】① 地方創生推進交付金 50%(5,540千円)※予定 (補助対象経費(大会の開催に係る経費)10,881千円) ② 特定財源なし</p>					
<p>業務量の増減</p>	<p>144時間の増</p>					
<p>市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)</p>	<p><input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働</p> <p>市内各地区の保存会を支援し、郷土芸能を後世へ伝えていく。</p>					
<p>事業期間</p>	<p><input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)</p>					
<p>予算額</p>	<p>金額(千円)</p>	<p>国</p>	<p>県</p>	<p>地方債</p>	<p>その他</p>	<p>一般財源</p>
	<p>当年度</p>	<p>11,581</p>	<p>5,540</p>			<p>6,040</p>
	<p>総額</p>					
	<p>財源名称</p>	<p>地方創生推進交付金(補助対象経費 10,881千円×50%)</p>				
<p>成果(活動)指標</p>	<p>指標(単位)</p>	<p>団体</p>				
	<p>年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>	<p>令和6年度</p>	<p>令和7年度</p>	<p>令和8年度</p>
	<p>目標値</p>	<p>11</p>	<p>5</p>	<p>5</p>	<p>5</p>	<p>5</p>
	<p>成果指標及び目標値の説明</p>	<p>長崎郷土芸能大会への出演団体数</p>				

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由

<input type="checkbox"/> 採択	<input type="checkbox"/> 所管案のとおり	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善	<input type="checkbox"/> 事業規模拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 事業規模縮小
	<input type="checkbox"/> 事業統廃合	<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			

(2) 評価会議における指摘事項

郷土芸能の活動機会の減少及び後継者不足の解消を図るため、保存・継承に係る活動機会の確保、後継者育成のための支援を行うものである。

郷土芸能大会出場団体への補助金について、コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となることから、出場団体数を例年の5団体から11団体に拡大することに加え、後継者育成、郷土芸能継続のため、無形民俗文化財に指定されていない団体の活動に対する補助金を新設する。

長崎の郷土芸能に係る活動を支援することで、郷土芸能の保存・継承に向けた一助となることから、事業の実施は適当である。

ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。

【事業実施に対する意見】

・人材育成に係る補助金については、後継者育成、郷土芸能継続の効果を検証し、柔軟に見直しを図ること。